

## 新型コロナウイルス感染症の同居家族である濃厚接触者における二次感染率（速報）

2021年3月 茨城県土浦保健所 緒方剛

### 目的

新型コロナウイルス感染者と同居する濃厚接触者の二次感染率については、多くの国で報告されているが<sup>1)</sup>、わが国では未だ公表されていない。また、今後予防接種が実施されると、同居家族の二次感染率は変わると予測される。そこで、予防接種普及前での当保健所管内における家族内で同居する濃厚接触者の二次感染率について、中間的な分析結果を提示する。

### 方法

土浦保健所では感染症の規定に基づき、新型コロナウイルス感染症患者について、積極的疫学調査および家族などの接触者への検査を行ってきた。

本調査の対象は、令和2年8月から令和3年2月に土浦保健所が探知した管内の新型コロナウイルス感染者に対して、管内の同居家族である濃厚接触者であって茨城県衛生研究所でPCR検査を受けた者である。家族内で最も発症日の早い者を初発患者とし、初発の発症日が2人同時である場合には分析対象から除外した。

### 結果

236名の初発感染者について、496名の同居家族の検査の結果が得られた。125名(25%)の同居家族がPCR陽性であった。

世帯人数によれば、2人世帯では38%、3人世帯では24%、4人世帯では20%、5人以上世帯では24%が陽性であった。一方、世帯当たりの感染した接触者数は、2人世帯では、0.4人、3人世帯では0.5人、4人世帯では0.6人、5人以上世帯では1.0人であった。

接触した家族の初発患者との関係では、配偶者で38%、子供で24%、同胞で10%、祖父母で29%であった。接触した家族の年齢別では、0-19歳では16%、20-59歳では23%、60歳以上では33%であり、性別では、男性では23%、女性では25%であった。

### 考察

同居家族の4分の1に感染が見られ、世帯人数が2人の場合、接触した家族が配偶者の場合、接触した家族が高齢の場合に、感染率が高かった。これらは、これまでの報告に相応するものであり<sup>1)</sup>、今後さらに詳細な分析を行う予定である。

また、一保健所だけではなく、今後全国の保健所から関連データを収集して、全国的な規模で家族内感染率の状況について分析することが必要である。その際、発症した季節、地域性、1次感染者の発症から診断までの日数の長さ（濃厚接触家族との曝露時間の指標）なども考慮することが有意義である。

1) Madewell ZJ, Yang Y, Longini IM, Halloran ME, Dean NE. Household Transmission of SARS-CoV-2: A Systematic Review and Meta-analysis. *JAMA Network Open*. 2020;3(12):e2031756. doi:10.1001/jamanetworkopen.2020.31756